

徳川林政史研究所蔵 尾張徳川家文書目録(十四)

凡 例

一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する「尾張徳川家文書」について収録したものである。「尾張徳川家文書」は、現在、「尾二」～「尾八」の文書群で構成されており、そのうち「尾二」～「尾四」は、昭和一〇年（一九三五）に財団法人尾張徳川黎明会（現在の公益財団法人徳川黎明会）によって開設された蓬左文庫において整理・分類されたもので、「尾五」～「尾八」は、その後当研究所において整理された文書群である。

本号では「尾張徳川家文書目録」（十四）として、「尾五」の文書群のうち、史料番号五〇六・五〇七を収録した。なお、本目録は、文書点数が非常に多いことや紙幅の関係などから、一度に収録することが困難であるため、「尾二」～「尾八」までの文書群を複数回に分けて掲載していくことにする。

一 本目録では、各史料について、①番号、②表題、③年月日、④作成者（または差出）↓宛所、⑤形態、⑥数量、⑦備考の七項目を採録した。

一 番号は、原則として、過去に蓬左文庫によって付された枝番号形式の番号を使用したものが、一部については、以前に当研究所において付された番号を使用したものもある。本目録の配列は、この番号の順序にしたがっている。なお、史料の配列や出納・閲覧の都合上、欠番号はそのままにしてある（本号の目録では欠番号はない）。

一 表題は、原則として内題（巻頭題）を採用し、外題を（ ）付きで直後に示した（なお、内題と外題が同じ場合には、（ ）の表記は省略した）。また、表題のみでは内容の把握が困難と考えられる史料については、必要

に応じて表題の直後に（ ）付きで内容に関する補記を行った。

一 年月日は、原則として史料に記載されている年月日（内容年）を示すことにし、目録作成時に推定した部分については、（ ）を付けて適宜表記した。また、年次記載がなくても、おおよその作成年代がわかる場合には、（安政年間）、（江戸末期）、（明治初年）などと付して、該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には、（年不詳）とした。刊本・写本の場合は、その史料が刊行または、書写された時点の年次を表記し、刊本のうち、後印本であることが明らかな場合のものについては、初版年次に続いて（ ）付きで後印年次を記した。

一 形態については、縦（縦帳）・横（横長帳）・横半（横半帳）・状（切紙・続紙・折紙）・鋪（絵図）・綴（作成契機の異なる複数の史料を綴ったもの）・帖（折本）・卷子などと示した。小型本については、「横・小」、「縦・小」などと表記した。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮して、後年の改装により、分冊あるいは合綴されたことが明らかな場合でも、現在保存されている状態での冊数を採用した。

一 備考には、史料の概略や別題、史料の中に挟み込まれた書状・書付・絵図面および綴じ込まれた文書の有無、欠本、合綴、改装の状態など、必要と思われる事柄を*印・※印を付けて適宜記した。

一 複数におよぶ冊子で構成されている史料については、出納や閲覧の便宜のため、原則として各冊ごとの細目を掲載した。細目の各項目における配列は、表題・年月日・作成者（または差出）↓宛所・形態・備考（冒頭に※を付した）の順とし、それぞれを二字アキで示したが、該当する項目に記載がない場合には、省略して表記している。

一 本目録は、当研究所で過去に採録したカードを基礎とし、これに今回の目録に際して改めて実施した内容調査の結果を加えて構成した。なお、本目録は、平成二二年度～同二八年度に行った研究員・非常勤研究員・研究生による夏季・春季集中史料整理の成果に拠っている。調査参加者は、太田尚宏(主任研究員・当時)・白根孝胤(研究員、当時)、石山秀和・浦井祥子・栗原健一・坂本達彦・渋谷葉子・清水聡・滝口正哉・田原昇・中村洋子・西光三・藤田英昭・宮原一郎・吉成香澄(以上、非常勤研究員・当時含む)、池ノ谷匡祐・出野雄也・井浪直人・上野恵・萱場真仁・桐生海正・小宮山敏和・櫻庭茂大・柴田愛・高田綾子・高橋伸拓・高山慶子・塚田沙也加・仲泉剛・西田安里・根岸美季・芳賀和樹・橋本佐保・藤井明広・松本剣志郎・宮坂新・山崎久登・横山考之輔(以上、非常勤研究生・当時含む)の三八名である。内容調査、データ入力、および原稿化作業は藤田英昭(研究員)が担当した。

尾張徳川家歴代藩主一覽

代	諱	生没年月日	藩主就任期間	諡号 院号	実父 生母	正室(簾中) 継室
1	義直	慶長五年十一月二八日 慶安三年五月七日	慶長一二年閏四月二六日 慶安三年五月七日	敬公	徳川家康 御龜(相應院)	春姫(高原院、浅野幸長女)
2	光友	寛永二年七月二九日 元禄一三年一〇月一六日	慶安三年六月二八日 元禄六年四月二五日(隠居)	正公 瑞龍院	義直 尉(歆喜院)	千代姫(靈仙院、徳川家光女)
3	綱誠	慶安五年八月二日 元禄一二年六月五日	元禄六年四月二五日 元禄一二年六月五日	誠公 泰心院	光友 千代姫(靈仙院)	新君(登珠院、広幡忠幸女)
4	吉通	元禄二年九月一七日 正徳三年七月二六日	元禄一二年七月一日 正徳三年七月二六日	立公 円覚院	綱誠 下総(本寿院)	輔君(瑞祥院、九条輔実女)
5	五郎太	宝永八年一月九日 正徳三年一〇月一八日	正徳三年一〇月一八日 正徳三年一月一日	達公 真巖院	吉通 輔君(瑞祥院)	安己君(光雲院、近衛家熙女)
6	継友	元禄五年二月八日 享保一五年一月二七日	享保一五年一月二七日 享保一五年一月二八日	暁公 晃禪院	綱誠 和泉(泉光院)	
7	宗春	元禄九年一〇月二六日 明和元年一〇月八日	享保一五年一月二八日 元文四年一月二三日(隠居)	暁公 章善院	綱誠 梅津(宣揚院)	
8	宗勝	宝永二年六月二日 宝曆一一年六月二四日	元文四年一月一三日 宝曆一一年六月二四日	賢隆院 戴公	松平友著 繁(円珠院)	三姫(宝蓮院、徳川吉通女)
9	宗睦	享保一八年九月二〇日 寛政一一年一二月二四日	寛政一二年一月二九日 寛政一一年一二月二四日	明公 天祥院	宗勝 嘉代(英巖院)	好君(転陵院、近衛家久女)
10	斉朝	寛政五年八月二三日 嘉永三年五月一三日	寛政一二年一月二九日 文政一〇年八月一五日(隠居)	順公 天慈院	一橋治国 彰君(乘蓮院)	淑姫(清湛院、徳川家斉女)
11	斉温	文政二年五月二九日 天保一〇年三月二六日	文政一〇年八月一五日 天保一〇年三月二六日	僖公 良恭院	徳川家斉 瑠璃(青蓮院)	愛姫(琮樹院、田安斉匡女) 福君(俊恭院、鷹司政熙女)
12	斉荘	文化七年六月一三日 弘化二年七月二〇日	天保一〇年三月二六日 弘化二年七月二〇日	懿公 大覚院	徳川家斉 蝶(速成院)	猶姫(貞慎院、田安斉匡女)
13	慶臧	天保七年六月一五日 嘉永二年五月七日	弘化二年八月二六日 嘉永二年五月七日	欽公 顕曜院	田安斉匡 れい(青松院)	
14	慶勝	文政七年三月一五日 明治一六年八月一日	嘉永二年六月四日 安政五年七月五日(隠居)	文公 賢徳院	松平義建 規姫(真證院)	矩姫(貞徳院、丹羽長富女)
15	茂徳	天保二年五月二日 明治一七年三月六日	安政五年七月五日 文久三年九月一三日(隠居)	顕樹院 靖公	松平義建 みさを(陽清院)	政姫(崇松院、丹羽長富女)
16	義宜	安政五年五月二四日 明治八年一月二四日	文久三年九月一三日 明治八年一月二四日	隆徳院 靖公	慶勝(禎正院) 多満(禎正院)	

※「御家御統帳」「御日記」「御記録(徳川林政史研究所蔵)」、「尾張徳川家系譜」(『名古屋叢書三編』第一卷)より作成。なお、系譜・家譜によつて生没年月日に若干の相違がある。なお、一六代義宜は当主であつた期間を記す。

番 号 表 題

年月日

作成者(差出↓宛所)

番上五六一〔徳川家會計文書一〕

(慶心)明治

形態・数量
横綴 一

① 安千代様御祝ニ付(紺御縫糸ほか即日取寄ニ付覚) (慶心)一〇月一〇日

※安千代は十四代・十七代徳川慶勝の六男。

② 記(向嶋御入用ニ付屋根舟老艘其外書上) (明治)四月一日

※十四代・十七代徳川慶勝の遊興に関するもの。

③ 護摩供千人講 (江戸カ) 八事山(興正寺)

※形態は横。木版刷。融金世話方に伊藤次郎左衛門(治良左衛門)・関戸哲太郎、世話方取持同行に神戸文左衛門・神谷伝右衛門・青山徳兵衛・山形屋庄三郎・俵屋善右衛門の名前が記載されている。

山形屋庄三郎・俵屋善右衛門の名前が記載されている。

④ 道中諸入用覚(東海道中立場茶代其外書上) (明治二年)巳六月二十八日〜七月一日 伊介

※形態は横。

⑤ (寿操院様へ被遊金ニ付書状) (明治四年)四月朔日 石原啓八郎・賀屋明・堀江篁夫・武井丈夫↓佐々木弥兵衛様・藤井左織様・長野善太郎様

※本文中に「当未年より」と記載あり。寿操院は十二代徳川齊荘の次女利姫のこと。

⑥ (東界寺御寄附地之儀ニ付書状) (明治)六月二十七日 内家↓庄内出張所掛衆

※七月三日付の返書が糊継ぎされている。

⑦ (分与賞典録下賜ニ付覚) (明治)

※形態は横。

⑧ (地廻り米代可相渡分差懸分式百五拾円有之ニ付書状) (明治)三月一六日 岡田光治↓本所御邸加藤菊太郎様其御外様

⑨ (福印御用ニ付白越綾御紋裾其外代金書上) (明治)二月一五日

※下ヶ札あり。福印は十四代・十七代徳川慶勝の三女道姫のこと。

⑩ (七千金之利潤を以可致永続御仕法ニ付一札) (明治) 家扶頭取

⑪ (賞典米終身御分与之輩之内昨壬申年迄病死之者取扱ニ付案文) (明治六年)一二月 家扶頭取

⑫ (三小区より八小区まで居住者書上) (明治)

⑬ (女中御俱登・御差登ニ付金錢書上) (明治)

⑭ (栃木県下産麻蔵貸之儀ニ付書状) (明治)一月一八日 岡田↓松山先生

⑮ (華族会館廻章之内別紙無之旨尋問ニ付返書) (明治)二月三日

①⑥ (従三位様五十日祭ニ付従五位様・義勇様より青物壱台御備被遊度取計被下度旨書状) (明治九年)一月一四日 四谷家従↓本所御家従中様

※従三位様は十六代徳川義宣(明治八年二月二四日死去)のこと。従五位様は十八代徳川義禮、義勇は高須松平家十三代当主。

①⑦ (昨八年下半年分馬車・人力車税賦御遣し有之度旨書付) (明治九年)二月三日 七小区扱所^{①⑧}↓長岡町 徳川家御中

①⑧ (駒印白羽二重・御羽織数書上) (明治)八月一七日

※下ヶ札あり。

①⑨ 御鉄漿初御祝之内(福印) (江戸)八月二八日

※福印は十四代・十七代徳川慶勝の三女道姫のこと。「覚」(八月二九日付)が糊継ぎされている。

②⑩ 覚(本紅紗諸事見本之通り相納申ニ付) (明治)一〇月一〇日 糸屋吉藏↓御殿 御広敷御用

②⑪ (内家局御入用金及女中向江渡方ニ付覚) (明治)

②⑫ 駒印御祝御召分(茶秩父・白羽二重・奈良晒) (明治)四月六日

②⑬ 毎月集金表(生徒月謝集金・各町有志集金其外書上) (明治)

②⑭ (兼而御頼之御上下明日中御仕立出来ニ付書状) (明治)一〇月二七日 堀田定右衛門↓奥野重治様・山森鉄吉様

②⑮ (奥女中御暇ニ付御切米代割渡ニ付覚) (慶応四年)閏四月二〇日 御広敷御用人

②⑯ (奥女中辰春御切米代覚) (慶応四年) (御広敷御用人)

②⑰ (護国院・長栄寺・万松寺江源順様御遺金御戻しニ付書付) (明治四年)未五月 家扶

※家令から会計懸り衆へ宛てたことを示す札と家扶衆から家令衆へ宛てた覚が端裏に貼り付けられている。護国院・長栄寺はともに名古屋市の北区にある寺。長栄寺は十一代徳川斉温によって再興された。万松寺は初代徳川義直の正室高原院の齋供料を毎年受けた。源順様は十代徳川齊朝のこと。

川齊朝のこと。

②⑱ (差戻金引渡之儀ニ付覚) (明治)二月一九日 会計懸り↓家令衆

※札や覚が貼り付けられている。

②⑲ (飯繩之身躰而已受取下御庭江移し之儀ニ付書付) (明治四年)未九月 寺社掛家扶

③⑩ (蘭町様御承知御用之吸物椀・菓子盆・花活其外代金書上) (明治)

③⑪ (廻米勘定覚) (明治)

③⑫ (ぎおん・上酒一升代請取ニ付書付) (明治)二月一日 前田海伴↓上

③⑬ 記(さしみ・わん盛・御飯代ニ付) (明治)二月 祇おん 吉兵衛↓上

③⑭ (湯しま御入用金書付) (明治)四月二八日

③⑮ (未年から子年迄勘定書) (明治四年)〜九年)

番号表題

年月日

作成者(差出)宛所

形態・数量

- ③⑥ (下婢たき解雇ニ付書状) (明治)一月二三日 (松平)義生様 家従↓本所 御家従中様
※松平義生は高須松平家十四代。
- ③⑦ (扱所江之届書調印ニ付書状) (明治)一月一四日 四谷御家従↓本所 御家従中様
※下婢たきの解雇に関するものか。
- ③⑧ (米代勘定覚) (明治)
③⑨ 記(御支度・御茶代・人力車代ニ付) (明治)六月六日
- ④⑩ (於鈺様御祝物之ため出頭之儀拝承ニ付書状) (明治)三月二五日 岡田光治↓用度係御中
- ④⑪ (風呂敷巻ツ御側女中おこう江御届願) (明治)二月六日 加藤嘉庸↓徳川様 御用度御中
- ④⑫ (清心院様御霊前江被下金覚) (明治)二月二二日
※清心院は十四代・十七代徳川慶勝の三女道姫(明治八年二月一五日死去)のこと。
- ④⑬ 一月十六日立通数扣(切紙・封帖等) (明治)一月二〇日
- ④⑭ (入講名前覚) (明治)
※谷次郎兵衛・服部小金次の名前が記載されている。
- ④⑮ (御乳用生木綿・奈良晒其外覚) (明治)
- ④⑯ (福印・寿印の御地白絹ち、ミ覚) (明治二年)巳五月
※福印は十四代・十七代徳川慶勝の三女道姫、寿印は同四女豊姫のこと。
- ④⑰ (二十六日下宿之者江御切米・御手当金御渡願) (明治)
※細目④⑧と関連。
- ④⑱ (六月二十六日女中人名二六人書上) (明治)
※嶋多・くわ・すめ・るき・津まなどが記載されている。細目④⑦と関連。
- ④⑲ (地租廳費御指山ニ付御達) (明治)二月三日 七小区 扱所④⑰↓長岡町 徳川家御中
- ④⑳ (水なえあ・しめ紙・かなな葛等覚) (明治)六月三日～四日
※切紙が糊継ぎされた状態で綴られている。「橘御間」と記載された切紙あり。
- ⑤① (深川御仕法立御預金御利子頂戴ニ付書状) (明治)一月二五日 辰巳重房・橋本善述・服部保↓鈴木高美様・加藤菊太郎様・水野正則様 其御外様
※「用度懸御中 同僚」と記載された封筒が糊継ぎされている。

⑤2 (荷主への仕切代ニ付書状) (明治)二月一日 岡田光治↓用度掛御中

⑤3 (福印化粧御道具書上) (慶応四年)辰五月

※福印は十四代・十七代徳川慶勝の三女道姫のこと。

⑤4 (天徳寺願書御廻ニ付書状) (明治)二月晦日 家扶頭取↓東京権大属御中

※端裏に会計懸りに宛てた付札が貼り付けられている。

⑤5 (東照宮初御代々様御霊牌当地宝台院へ安置し年回御法事執行ニ付返書) (明治)二月一日 静岡様御家令溝口八十郎(勝如)

↓石河竹次郎様

※端裏に「社寺懸り衆」と記載された付札あり。静岡に移住した徳川宗家の位牌・年忌法要に関するもの。

① 慶応元丑年互換上書付(メ金千五百四拾九両余入・金千五百三拾両余出) (慶応二年)寅五月

※端裏に「写済」と記載あり。

② 御側寄物金借用之輩伺済談書等差立帳 (慶応四年)辰六月 御城御小納戸頭取

※形態は横。「京都御小納戸頭取衆様 尾州同役」と記載された付札が貼り付けられている。

③ 安政四巳年より入印入記(金銭請取ニ付) (明治四年)辛未十一月二九日 ④(川惣)

④ 覚(海西郡鎌島新田年貢高書上) (江戸カ)

※形態は横。

⑤ 覚(海西郡前ヶ須新田年貢高書上) (江戸カ)

※形態は横。

⑥ 覚(海西郡前ヶ須新田年貢高・拾ヶ年免附書上) (江戸カ)

※形態は横。

⑦ (鎌島新田地所之見込ニ付書状) (明治五年)三月一七日 永田市蔵↓辰巳吉兵衛さま

⑧ (来訪依頼状) (明治五年)三月一八日 永田市蔵↓辰巳吉兵衛さま

⑨ (前ヶ須新田地所取高書上) (明治)

⑩ 覚(鎌島新田正徳米勘定書) (明治)

⑪ (鎌島新田正徳米勘定書) (明治)

※端裏に「二」と記載あり。下ヶ札あり。

番号表題

年月日

作成者(差出)宛所

形態・数量

- ⑫ (鎌島新田御買上方見合ニ付書状) (明治五年)三月二十四日 東京 同僚↓名古屋 一家徒御中
- ⑬ 伺書(鎌島新田木村忠右衛門困窮ニ及び地所売払ニ付書状) (明治五年)壬申三月十九日 御年貢地懸
- ⑭ 聞書(鎌嶋新田ニ付書上) (明治)
- ⑮ 安政三辰御勘定書付 (安政四年)巳正月
- ⑯ (高照寺拝借金返上方ニ付達) (慶応)五月 御小納戸頭取衆↓
- ※高照寺は、もとは丹羽郡稲木荘寄木村の稲木神社(稲置天神)で、享保九年(一七二四)に天道山高照寺と改め、寛保元年(一七四一)に愛知郡八事村の現在地に遷座した寺院。十代徳川斉朝の位牌を安置している寺院。
- ⑰ (高照寺拝借金返納方御用捨再願ニ付書状) (慶応)五月 白井新次郎↓御小納戸頭取衆様
- ※端裏に「壹」の付箋が貼り付けられている。
- ⑱ 新御殿御金筋書付(新宝新田御年貢金ほか) (慶応)
- ⑲ (高照寺拝借金返上方御用捨願書ニ付書状) (慶応)正月一四日 白井新次郎↓御小納戸頭取衆様
- ※端裏に「三」の付箋が貼り付けられている。
- ⑳ (新御殿拝借金訳立方ニ付達) (慶応二年)一二月 御小納戸頭取衆
- ※端裏に「今度之御請書」と記載された掛紙が貼り付けられている。本文中には高照寺拝借金の件も記載されている。
- ㉑ 新御殿拝借金之事 (慶応三年)正月 御新田懸り
- ※高照寺拝借金の件も記載あり。
- ㉒ 大代官役所貸渡金之儀ニ付申達候書付 (文久二年)戊四月 大道寺新六郎
- ※大道寺新六郎は十四代徳川慶勝付御側懸御広敷用人兼御側懸御小納戸頭取を勤める。
- ㉓ (新御殿御手元金其外御側御金筋返納方ニ付達) (慶応)一〇月 御小納戸頭取衆
- ※端裏に「ホ」と朱書された付箋が貼り付けられている。
- ㉔ (田嶋八右衛門返納方ニ付書上) (江戸)
- ※細目㉓に貼り付けられた文書。
- ㉕ (拾両ニ付式朱ツ、返納ニ付書上) (江戸)
- ※細目㉕に貼り付けられている。綴りから剥がれた状態で挟み込まれている。
- ㉖ (新宝新田御普請大代官役所江貸渡金ニ付達) (江戸)一〇月 御小納戸頭取衆
- ※細目㉖に貼り付けられている。綴りから剥がれた状態で挟み込まれている。

- ②7 (新御殿拝借金訳立方ニ付達) (元治ノ慶応)一〇月 御側御用人衆
 ※端裏に「九」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。
- ②8 (新御殿拝借金訳立方ニ付達) (元治ノ慶応)一〇月 御側懸衆
 ※端裏に「二」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。
- ②9 頭書(別紙丸印ニ付) (元治ノ慶応)二月 御小納戸頭取
 ※端裏に「二」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。
- ③0 (別紙新御殿拝借金訳立方ニ付問合) (元治ノ慶応)一〇月 御側御用人衆
 ※端裏に「二」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。下ケ札あり。
- ③1 新御殿拝借金訳立方之儀ニ付下ケ札を以御答申達候書付 (慶応二年)寅五月 御小納戸頭取
 ※端裏に「最前之御談事」と墨書された付箋と「坤」と朱書された付箋が貼り付けられている。下ケ札あり。
- ③2 下ケ札を以御答申達候書付(新御殿拝借金訳立方ニ付) (元治元年)子年一月 御小納戸頭取
 ※端裏に「イ」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。下ケ札あり。
- ③3 (出羽守殿・筑前守殿拝借分切替ニ付伺) (元治ノ慶応)五月 源順様御側懸り 御小納戸頭取
 ※端裏に「五」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。源順様は十代徳川斉朝のこと。
- ③4 (新御殿拝借金訳立方ニ付達) (元治ノ慶応)一〇月 御小納戸頭取
 ※端裏に「五」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。
- ③5 (新御殿拝借金訳立方年賦割ニ付達) (元治ノ慶応)二月 ↓御側御用人衆
 ※端裏に「四」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。
- ③6 (新御殿拝借金年賦割認替其外ニ付達) (元治ノ慶応)二月 御小納戸頭取
 ※端裏に「五」と朱書きされた付箋が貼り付けられている。
- ③7 (中村修之進初四人金子渡方ニ付書状) (慶応)七月朔日 京役懸↓寄物懸衆様
- ③8 (御側寄物金返上ニ付請取人差出之旨達) (明治二年)二月一五日 倉慶方従事↓家扶衆様
- ③9 (小払金書上) (明治)
 ※形態は横。掛札あり。
- ④0 (昨年御家中御宛行半減之輩御側寄物金被下捨ニ付達) (明治)五月 副家知事
 ※付札あり。

番号表題

年月日

作成者(差出)宛所

形態・数量

第五卷之三

〔徳川家会計文書三〕

(安政)明治

横綴

一

- ④(長防征伐御供江付御側寄物金亡父林左衛門并私拝借分被下捨願) (明治)三月 番兵三等兵隊雅楽懸り日比野伊三郎
 ④②(明倫堂給事在勤中御側寄物金拝借被下捨願) (明治)二月 三等兵隊近藤音三郎
 ④③(長州征伐出張御供ニ付御側寄物金・御新田金等被下捨願) (明治)正月 番兵三等兵隊川角充太郎
- ①(諸役所御入用減方ニ付申達) (慶応元年)丑五月
 ②(道徳前新開所ニ付書上) (安政五年カ)一一月
 ※下ケ札・掛札あり。
- ③(六千両貸渡見当ニ付書付) (江戸)
 ※下ケ札あり。
- ④(六千両ニ而御買上ニ付書付) (江戸)
 ⑤(道徳前新開用水之儀ニ付伺書) (安政五年カ)一一月
 ⑥(姫君様御次第(御守殿御入興ニ付) (江戸)
 ※下ケ札あり。
- ⑦(乍恐以書付奉申上候(道徳前新田新開半分引当拝借ニ付願) (安政五年カ)午一二月 渡辺新兵衛↓菊池伴太夫様
 ⑧(証(御要書老封落手ニ付) (明治)九月九日 たはた勝埜(勝野良順)↓辰巳様
 ※勝野良順は田宮如雲の次男。
- ⑨(株券取引ニ付書状) (明治)八月一五日 藤井希璞↓田中不二麻呂殿
 ※封筒とも。藤井希璞は有栖川宮家の家扶。
- ⑩(別紙反別簿一冊点検明朝御投じ願ニ付書状) (明治)三月七日 よし順(勝野良順)↓橋坪老先生閣下
 ⑪(飛鳥稻荷御用向旧曆勘定其外ニ付書状) (明治)一月三日 三野佐兵衛↓辰巳重房殿
 ⑫(頃日縷々細教被成下ニ付礼状) (明治)無射(九月)二日 (勝野)良順↓巽老先生閣下
 ⑬(別紙喜七郎御通達の件御報告ニ付感謝状) (明治)二月二八日 (勝野)良順↓橋坪老先生閣下
 ⑭(新開一件明正寺司法江越訴ニ付書状) (明治)八月尽(晦日) (勝野)良順↓巽老先生閣下
 ⑮(春懐旧(和歌三〇首) (明治)
 ⑯(商船御取立御利益筋相立候様仕度ニ付書状案) (明治)八月 両三人

- ⑰ 相庭(塩さば・塩鮭其外相場) (明治)六月九日 岩間店
 ⑱ 損益見積書 (明治)

※細目⑱と関連するか。

- ⑲ 覚(金銀請取ニ付) (明治)四年未八月八日 三池屋清兵衛↓川村様

※印文は「名古屋日置桶清」。

- ⑳ 覚(薬罐・蠟燭御渡ニ付) (明治)六月

- ㉑ (商船売買ニ付損益見積草稿) (明治)

※端裏に「二度目 草稿」と記載あり。

- ㉒ (薪・樟腦其外商船売買ニ付損益見積書) (明治)

※端裏に「三度目上下」と記載あり。

- ㉓ (板木・塩物其外商船売買ニ付損益見積書) (明治)

※端裏に「二度目上下」と記載あり。

- ㉔ (松木・板・炭・薪其外商船売買ニ付損益見積書) (明治)

※端裏に「初発上下」と記載あり。

肆五五六四 [徳川家会計文書 四]

(安政~明治)

- ① 訳立仕法(御下金渡方其外ニ付) (江戸)

- ② 御膳所竈之図 (年未詳)五月五日

- ③ 請取申金銀之事(寺院町人等新御殿拝借金返上分請取ニ付) 安政五年午二月二三日 西村源兵衛④↓山口勝三郎殿

- ④ 請取申金銀之事(寺院町人等新御殿拝借金返上分請取ニ付) 安政六年辛未九月六日 西村源兵衛④↓松平甚之助殿

- ⑤ 請取申臨時金之事(御殺生御用之節下魚御払代請取ニ付) 明治元年辰二月二四日 林勘之右衛門④↓中野惣太郎殿

- ⑥ 請取申金銀之事(寺院町人等新御殿拝借金返上分請取ニ付) 安政五年午二月二三日 西村源兵衛④↓山口勝三郎殿

- ⑦ 請取申金銀之事(寺院町人等新御殿拝借金返上分請取ニ付) 安政五年午二月二三日 西村源兵衛④↓山口勝三郎殿

- ⑧ 請取申金銀之事(寄合八木市兵衛其外新御殿拝借金返上分請取ニ付) 安政五年午二月二三日 西村源兵衛④↓山口勝三郎殿

- ⑨ 覚(新宝新田百姓九軒之者共旧里江焔村ニ付御手当金請取之旨) 巳四月 地方御勘定所④↓御小納戸御役所

- ⑩ 覚(利息金上納ニ付) 卯三月 竹皮屋治郎八印↓御小納戸御役所

番号表題

年月日

作成者(差出宛所)

形態・数量

⑪ (包紙) 明治二(己)二月五日

※「去々卯年御川々御殺生下御魚御払代御金奉行衆請取手形巻通入」と記載されている。

⑫ 御救金内訳(横須賀御代官支配所知多郡小倉村金式両銀式匁四分) (江戸)

⑬ 請取申金子之事(水災等之節御側より之窮民不時御救筋手当金請取ニ付) 安政五年午四月四日 渡辺源六郎^印↓正木宗兵衛殿

※貼紙あり。

⑭ 請取申金子之事(水災等之節御側より之窮民不時御救筋手当金請取ニ付) 安政四年巳四月九日 碓氷重次郎^印↓正木宗兵衛殿

⑮ (大代官支配所春日井郡松河戸村水災窮民へ白米御渡ニ付書付) (江戸)

※冒頭に「巻」と墨書あり。

⑯ (濃州安八郡大森村火災類焼人へ白米御渡ニ付書付) (江戸)

※冒頭に「式」と墨書あり。

⑰ 借用仕金子之事(調達金借用ニ付案文) (江戸) 御小納戸 御役所

⑱ 御側御救金別段御入用立方之儀申達候書付(鵜多須代官支配所濃州十六村入水ニ付) (安政五年)午七月二〇日 御小納戸頭取

⑲ 御救金内訳書付(鵜多須代官支配所濃州不破郡十六村・北方代官支配所同州安八郡齋田村ほか) (安政五年) (御小納戸頭取)

※付札あり。

⑳ 御側御救金別段御入用立方之儀申達候書付(鵜多須代官支配所濃州不破郡十六村初入水ニ付) (安政四年)巳八月 (御小納戸頭取)

※付札あり。

曇上五六五 (徳川家會計文書五)

(明治三年～四年)

横綴

① (白木御三方御請取ニ付書状) (明治)二月二六日 吉田三陽↓内家局 御家丁衆様

※鈞姫(鈞姫)の婚姻と関連するもの。十二代徳川齊荘の四女。松平乗命(元岩村藩主)に嫁す。

② (借入金返納ニ付覚) (江戸)正月二四日 文三郎

※形態は横。

③ (御輿昇其外覚) (明治カ)

※鈞姫(鈞姫)の婚姻と関連するもの。

④ (岩村表江宿駕籠巻拵継立ニ付達) (明治四年)未正月一五日 名古屋内家局印↓勝川谷岩村表迄 右村々庄屋中

※形態は横。鈞姫(鈞姫)の婚姻と関連するもの。

⑤ 釣姫様御側仕女中御暇等之儀ニ付申達候書付 (明治三年) 午二月 御広敷懸り家扶頭取

※付札あり。釣姫は釧姫とも。

⑥ 藤のへ御廻申渡(釣姫御側仕女中御暇ニ付) (明治三年) 二月二十四日

⑦ (釣姫御側仕女中御暇ニ付伺案文) (明治三年) 二月

⑧ (釣姫様御縁組御召連女中ニ付伺) (明治三年) 二月

⑨ 休泊割(赤羽根から鳴海まで) (明治)

※形態は横。

⑩ (奥方様御初節句進物ニ付書状) (明治) 二月二十八日 小林一問多↓古瀬桂三郎様

⑪ 覚(一位様・御簾中様・貞慎院様・三位様への進物ニ付) (明治) 小林(一問多)↓古瀬(桂三郎)様

※一位様は十四代・十七代徳川慶勝、御簾中様は慶勝正室矩姫、貞慎院は十二代徳川斉荘正室猶姫、三位様は十六代徳川義宣のこと。

⑫ 覚(御火鉢台・御喰籠・御文箱其外修繕請取ニ付) (明治四年) 三月十七日 塗師 松川屋 太平↓東御屋敷 内家御局 御用

⑬ (御火鉢・御食籠・御文箱其外塗繕出来ニ付書付) (明治四年) 未三月 塗装師 善藏↓東御屋形 内家局御役所様

⑭ (御役所付小丸弓張其外書上) (明治) 塗装師 善藏↓東御屋形 内家局御役所様

⑮ (岩邑小林一問多之書状披見御初節句ニ付従五位様之被進御品有之旨書状) (明治) 古瀬桂三郎↓服部善十郎様

※従五位様は釣姫の嫁ぎ先の松平乗命(岩村藩主)を指すか。

⑯ 御積り書之覚(御召真綿代) (明治) 極月一四日 伊藤治郎左衛門代 理七↓御内家局 御用

⑰ (正月十一日廻り御長持・御道中御引連御長持其外書上) (明治) 御内家局 御用

⑱ 乍恐口上之覚(宅下ケ之御塗物・御繕ひ物納め日延願) (明治) 二月十七日 塗師 松川屋 太平↓内家御局

⑲ 覚(御障子屏風其外代金書上) (明治三年) 午二月 霞月堂 治兵衛印↓東御屋敷 内家局

⑳ 覚(八枚折御障子御屏風二双其外出来ニ付上納願) (明治三年) 二月 小くらや 小八郎↓内家局

㉑ 覚(御八枚折障子屏風代書上) 明治三年 午二月 御表具師 弥十郎印↓東御屋敷 御役所 御用

㉒ 覚(六枚折御屏風代ニ付) (明治三年) 午二月 霞月堂 治兵衛印↓東御屋敷 内家局

※端裏に「御屏風積書」と記載あり。

㉓ 御積立(猩々緋御単掛ケ其外代ニ付) (明治三年) 二月一六日 近江屋 市右衛門↓東御屋敷 内家御局

㉔ (真わた調進ニ付伊藤次郎左衛門代理七之書付差出之旨書状) (明治) 二月一四日

㉕ 御積り書之覚(極上物真綿其外ニ付) (明治) 極月一〇日 伊藤治郎左衛門↓御内家局

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

⑳(冊子断簡) (明治)

※「皇大君も此御心を礼し玉ひて天下を治給ひ・・・」と記載あり。

暁上五十六 (徳川家会計文書六)

(明治)

横綴

一

① 六月廿八日入札(式百石二斗一升五合藤屋久七其外書上) (明治)

② 入札之記(廿三番価三拾三匁其外書上) (明治)

③ (直段御払申請ニ付書上) (明治)一〇月 英楽堂加平↓

④ (百廿七番六拾三匁八分其外入札書上) (明治)一〇月二十五日 上宿治兵衛↓

⑤ (右之代価ニ而申受度ニ付書上) (明治)一〇月 片桐亮↓

⑥ (入札書上) (明治) 角田↓

⑦ (御両所様御軸御花とも都而表ニ而御かさり附其外覚) (明治)

⑧ 覚(御蔵米五百石入札ニ付) (明治六年)六月二十八日 師崎屋長兵衛・岡田屋芳蔵↓

⑨ 覚(御蔵米貳百石入札ニ付) (明治六年)六月二十八日 ふじや久八㊦・上門屋甚吉㊧↓上

⑩ 記(御蔵米貳千五百俵其外入札ニ付) (明治六年)六月二十八日 玉屋町岡田屋芳蔵↓

⑪ 記(御蔵米貳百石其外入札ニ付) (明治六年)西六月二十八日 納屋町万屋文七↓

⑫ 記(御蔵米百石入札ニ付) (明治六年)六月二十八日 アツタ青木文七↓

⑬ 記(御蔵米五拾石入札ニ付) (明治六年)六月二十八日 アツタ刀屋喜七↓

⑭ 記(米三百石申請ニ付) (明治六年)六月二十八日 大屋光三↓

⑮ 記(納米三百石入札ニ付) (明治六年)西六月二十八日 船津屋源兵衛↓上

⑯ (於道様・於登代様・近衛様其外江寒中御見廻被進物ニ付書付) (明治)二月二〇日

※於道様は十四代・十七代徳川慶勝の三女、於登代(豊様は同四女。貼紙二枚あり。

⑰ 十二月中仕払 (明治)

⑱ (金銭支払書付) (明治)

※付箋多数あり。

⑲ (金銭支払書付) (明治)

※下ケ札あり。

① 差継帳(去子年中御入用并取替払之分共差引書付) (文久三年)六月

※形態は縦。

② 請取申金子之事(御側御囲金式千両請取ニ付) 文久三年亥十一月 小笠原龍三[㊤]↓岩田弥左衛門殿・林藤左衛門殿

③ (金百五拾両金当分借用ニ付書付) 文久三年亥十一月 成瀬藏人[㊤]↓御小納戸御役所

④ 見積書(養生社内松枝買受料ニ付) 大正六年八月一日 平岩仲右衛門↓徳川様御中

⑤ 請取申金子之事(亥年御留守御入用金七拾八両三分請取ニ付) 文久三年亥二月 岩田弥左衛門[㊤]↓佐々木弥兵衛殿

⑥ 請取申金子之事(当子年御留守御入用金百七拾両請取ニ付) 元治元年子三月 林藤左衛門[㊤]↓寺山虎助殿

⑦ 覚(上納金六拾四両ニ付) 元治元年子三月二八日 伊藤次郎左衛門↓御小納戸御役所

⑧ 請取申金子之事(女同様御手金三千七百九拾壹兩余不残差登請取ニ付) 元治元年子四月 村瀬斧三郎[㊤]・浅野永十郎[㊤]↓神保平左衛門殿・林藤左衛門殿

藤左衛門殿

※女同様は十五代徳川茂徳のこと。

⑨ (為替金之内千両請取ニ付覚) (文久・元治)二月二八日 御小納戸役所[㊤]↓伊藤次郎左衛門殿

⑩ 覚(金千両上納ニ付) (文久・元治)二月二日 伊藤次郎左衛門↓

⑪ (寿操院様御引移之節御入用金三拾兩相廻ニ付書付) (文久・元治)正月 松井市兵衛[㊤]↓霞老女

※寿操院は十二代徳川齊荘の次女利姫のこと。

⑫ 覚(為替金千両請取ニ付) (文久・元治)正月七日 御小納戸役所[㊤]↓

⑬ (前御簾中様御引移ニ付御入用金五拾兩相廻ニ付書付) (文久・元治)二月一九日 松井市兵衛[㊤]↓平の

※前御簾中様は眞慎院(十二代徳川齊荘の御簾中)のことか。

⑭ (前大納言様御引移ニ付大奥御入用金五拾兩相廻ニ付書付) (文久・元治)二月一九日 松井市兵衛[㊤]↓平の

※前大納言様は十四代徳川慶勝のこと。

*表紙・裏表紙が剥離しているため取扱注意。

① 御献立(寺送り) (江戸・明治)

② (茶屋其外之献立書上) (江戸・明治)二五日

※紙継ぎされている。

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ③ (御献立案) (江戸→明治)
※前欠。
- ④ (献立覚) (江戸→明治)
- ⑤ 四日御献立 (江戸→明治)
- ⑥ (懸物・献立書家) (正月二四日)
※奥に「正月廿四日城州方晩京分被参、其節左衛門・太郎左衛門参合罷出」と記載あり。
- ⑦ (御献立案) (江戸)
- ⑧ (蒲矛・小鯛其外献立覚) (江戸)
- ⑨ 二月十八日成瀬^(奥)前荘(吸物ほか) (江戸)
※後欠。
- ⑩ (菓子其外献立) (江戸)
- ⑪ (鱧枝き其外献立) (江戸)
※後欠。
- ⑫ 御献立 (江戸)
※後欠。
- ⑬ (懸物・献立覚) (江戸)
※奥に「二月廿九日」と記載あり。
- ⑭ 御献立(御上分拾人前) (江戸)
- ⑮ (わらび・いか・かぶら其外献立覚) (江戸)
- ⑯ (和物・浸物・焼肴其外献立覚) (江戸)
- ⑰ 三汁十菜(献立書上) (江戸)
- ⑱ 二汁七菜(献立書上) (江戸)
- ⑲ 御献立(御座附) (江戸)
- ⑳ 御献立(巻折ほか) (江戸)
- ㉑ 御会席 (江戸)八月二九日

- ②② (献立覚) (江戸)
- ②③ (献立覚) (江戸)一〇月一八日
- ②④ (御座附御献立覚) (江戸)酉五月一五日 下屋敷平右衛門ほか↓
- ②⑤ (献立書上) (江戸)二月八日～一六日
- ②⑥ (献立書上) (江戸)寅三月一〇日
- ※奥書に「十三日御発駕御供ニ而下向ニ付錢別山澄・鏡嶋両氏也」と記載あり。飾物の書付が奥に貼り付けられている。
- ②⑦ (御献立書上) (江戸)
- ②⑧ 御献立 (江戸)
- ※糊継ぎはがれ。取扱注意。
- ②⑨ 五月十七日御献配 (江戸)五月一七日
- ③⑩ 献立(案) (江戸)
- ③⑪ (書院・居間其外掛物など飾物書上) (江戸)
- ※細目③⑩の裏に貼り付けられている。
- ③⑫ 献配 (江戸)二月九日
- ③⑬ (献立覚) (江戸)
- ③⑭ (御献立書上) (江戸)辰十一月二五日
- ※端に「辰十一月廿五日石河土佐守殿」と記載あり。
- ③⑮ (献立書上) (江戸)
- ※奥に「九月十日、小八郎江府へ発足見立、半蔵・拙者・五郎作・半十郎・八郎五郎・金之丞・半兵衛・随庵・三軒・星野七右衛門・志水八郎左衛門・道伯・老眼八ツ時発途相濟、無程退散」と記載あり。
- ③⑯ (献立書上) (江戸)閏八月二三日 志水甲斐邸
- ③⑰ (御献立書上) (江戸)
- ③⑱ 御会席 (江戸)
- ③⑲ (献立覚) (江戸)十一月二八日～十二月二五日
- ④⑰ (明和八卯年十月廿五日献立書上) 明和八年十二月二五日
- ④⑱ (御献立覚) (江戸)

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ④② (正月九日献立覚) (江戸) 正月九日
- ④③ (献立案) (江戸)
- ④④ (献立覚) (江戸) 七月二五日、九月一日
- ④⑤ 明和二西九月廿六日山城守様新御屋敷六千七郎・元九郎同道三而相越候節献立 明和二年
※取持は梶玉斎・大嶋庄兵衛と記載あり。
- ④⑥ (献立覚) (江戸)
- ④⑦ (三月十日志水献立大略) (江戸)
- ④⑧ 四月九日献立 (江戸)
※四月二五日分も記載あり。
- ④⑨ (晚秋十九日・同晦日献立覚) (江戸)
- ④⑩ (献立書上) (江戸) 四月朔日
- ④⑪ (懸物・花生・献立書上) (江戸) 弥生三月二日
- ④⑫ (床飾・献立書上) (江戸) 一〇月二日
- ④⑬ (御発駕之節献立覚) (江戸) 卯年三月朔日
- ④⑭ 九月十八日薩州邸江御老中招請之節料理献立 (江戸)
- ④⑮ 十三日着前分(御献立書上) (江戸)
- ④⑯ 十五日御料理 (江戸)
- ④⑰ 後段御献立 (江戸)
- ④⑱ (掛物・献立覚) (江戸) 西暦(臘)月三日
- ④⑲ (献立案) (江戸)
- ④⑳ (献立・掛物其外書上) (江戸)
- ④㉑ (献立書上) (江戸) 三月一七日
- ④㉒ 御献立 (江戸)
- ④㉓ (献立覚) (江戸)
- ④㉔ (菓子折・京羽二重其外覚) (江戸)

- 65 (御献立断簡) (江戸)
- 66 (かはほこ・はんへん其外覚) (江戸)
- 67 (七月九日献立覚) (江戸)
- 68 (献立覚) (江戸)
- 69 (献立書上) (江戸)正月一七日
 ※奥に「千村平右衛門江」と記載あり。
- 70 (献立覚) (江戸)七月六日
- 71 (御献立覚) (江戸)
- 72 (献立書上) (江戸)寅二月二日～二四日
- 73 御待請(御献立書上) (江戸)
- 74 九月六日上杉殿之献立 (江戸)
- 75 五月二九日御献立(御座附) (江戸)
- 76 (御献立案) (江戸)
- 77 (献立・飾付書上) (江戸)
- 78 (床飾・献立書上) (江戸)
- 79 (卯二月十三日維学心院様東本願寺江被為入朝六時之御供揃右御供之輩御徒以上御能拜見御料理献立・御能番組書上) (天保)卯二月二三日
 ※維学心院は九代徳川宗睦の養女(高須松平家七代松平義当の娘)で近衛基前の正室琴姫のことで、基前の死(文政三年)により、維学心院と称す(天保一四年死去)。卯年は天保二年か同一四年のうち。
- 80 (献立書上) (江戸)
- 81 御年寄衆被下品(至楽軒ニ而煮茶干菓子・漫樹亭ニ而御酒) (江戸)
- 82 (三月十三日・九月七日御茶屋ニ而御献立) (江戸)
- 83 (献立覚) (江戸)六月二日
- 84 (御献立案) (江戸)
- 85 (志水小八郎家督祝之床飾・献立覚) (江戸)
 ※端に「七月朔日志水小八郎家督後初而罷越、相客渡辺半蔵相伴、遠山彦左衛門・生駒因幡取持、石井隆庵夕七ツ頃罷越、暁七ツ頃客罷立候、千賀与八郎も申遣候由之処当病ニ而断ニ候」と記載あり。糊継ぎはがれ。
- 86 御献立 (江戸)

番号表題

尾張徳川家文書目録(十四)

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ⑧7 (千村平右衛門江罷越節献立・床飾覚) (江戸)五月三日
 ※「五月廿三日千村平右衛門江罷越、肥田孫三郎・横井兵吉・千二郎同伴取持、周碩・林古・正彌」と記載あり。
- ⑧8 元文三年丹州殿ニ而之馳走献立大概 元文三年
 ⑧9 御献立(御座附) (江戸)
- ⑨0 御弁当御膳 (江戸)九月六日
- ⑨1 献立 (江戸)二月一三日〜二月一五日
- ⑨2 (献立案) (江戸)三月二日・四日
- ⑨3 寛政元西二月靱負殿御暇乞申上被参候ニ付御道具御飾付覚書(案) (江戸)
- ⑨4 (懸物・花生・献立其外書上) (江戸)二月二日
- ⑨5 (献立・床懸物其外書上) (江戸)九月一三日
- ⑨6 御献立(案) (江戸)
- ⑨7 (正月六日献立覚) (江戸)
 ※文書二点が貼り付けられている。
- ⑨8 御重詰 (江戸)
 ※文書一点が貼り付けられている。
- ⑨9 御献立 (江戸)
- ⑩0 (献立書上) (江戸)
- ⑩1 御献立(案) (江戸)
- ⑩2 御献立(御座附) (江戸)
- ⑩3 御献立(京都大雄院) (江戸)丑七月二日
- ⑩4 来ル十五日御五十御賀御祝留(御献立覚) (江戸)
- ⑩5 (献立書上) (江戸)八月一三日
- ⑩6 (献立書上) (江戸)三月二八日
- ⑩7 御献立(案) (江戸)四月一五日
- ⑩8 (献立書上) (江戸)
- ⑩9 (献立書上) (江戸)

※貼紙あり。

- ⑩ (御献立書上) (江戸)
 - ⑪ (献立覚) (江戸)四月九日
 - ⑫ (献立覚) (江戸)二月一日・二八日
 - ⑬ (飾物・献立書上) (江戸)
 - ⑭ (献立覚) (江戸)二月五日
- ※文書一点が貼り付けられている。
- ⑮ (献立覚) (江戸)正月二日
 - ⑯ (献立書上) (江戸)
 - ⑰ 御献立 (江戸)
 - ⑱ (御椀・御皿・御鉢其外書上) (江戸)
 - ⑲ (献立書上) (江戸)四月朔日
 - ⑳ 献立 (江戸)二月五日
 - ㉑ (御三人前献立書上) (江戸)二八日
 - ㉒ (献立書上) (江戸)九月九日
 - ㉓ (御献立案) (江戸)
 - ㉔ (奥御道具・御小納戸方・御目付方御道具書上) (江戸)
 - ㉕ (献立覚) (江戸)
 - ㉖ (献立覚) (江戸)
 - ㉗ (献立覚) (江戸)一〇月三日～十一月朔日
 - ㉘ (献立書付) (江戸)三月朔日
 - ㉙ (十月十五日御用談ニ付渡辺氏被越候節之書上) (江戸)
 - ㉚ (三月十六日献立案) (江戸)
 - ㉛ (三月十三日御上通り御献立案) (江戸)
 - ㉜ (献立覚) (江戸)

※文書一点が貼り付けられている。

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ⑬ 御献立 (江戸)
- ⑭ 御献立 (江戸)
- ⑮ (小兵衛・主水・七郎右衛門・権平儀大曾根下屋敷へ招請ニ付書付及び献立案) 寛延三年九月一五日
- ⑯ (献立案) (江戸)二月一五日・二月朔日
- ⑰ 御献立 (江戸)
- ⑱ (献立覚) (江戸)
- ⑲ 御献立(案) (江戸)
- ⑳ (十月十四日献立書上) (江戸)
- ㉑ (竹腰志摩守・成瀬隼人正・渡辺半蔵・志水甲斐守・千賀縫殿・毛利源内・高木久太夫時献上書上) (江戸)
- ㉒ (端午・有卦入其外之節献立覚) (江戸)
- ㉓ (二月三日・二月十四日其外献立覚) (江戸)
- ㉔ 三月廿三日別業小会(献立書上) (江戸)
- ㉕ (別荘ニ而昼晩献立書上) (江戸)戌二月六日
- ㉖ (御献立書上) (江戸)
- ㉗ 御立座之御客御祝之献立覚 (江戸)巳六月二五日
- ㉘ 御見立之御客御祝之献立覚(案) (江戸)辰四月二五日
- ㉙ 御献立(案) (江戸)
- ㉚ (十一月六日献立覚) (江戸)
- ㉛ (八月七日献立・懸物其外書上) (江戸)
- ㉜ 十月朔日献立 (江戸)
- ㉝ 会席料理 (江戸)
- ※下ヶ札あり。
- ㉞ (献立覚) (江戸)一〇月 尾頭入道
- ㉟ 御重詰 (江戸)
- ㊱ 覚(一・二・三之膳覚) (江戸)

- ⑮ 霜月廿九日於松濤田安公正午御茶会附 (江戸)
- ⑯ 十月十二日半蔵邸江罷越道具付献立 (江戸)
- ⑰ (道具覚) (江戸)
- ⑱ (御茶席道具書上) (江戸)
- ⑲ (献立・掛物其外覚) (江戸)
- ⑳ (献立覚) (江戸)
- ㉑ (献立覚) (江戸)三月一六日
- ㉒ (献立覚) (江戸)
- ㉓ 御献立 (江戸)
- ㉔ (献立覚) (江戸)五月一日
- ㉕ (献立覚) (江戸)
- ㉖ (献立書上) (江戸)二月二七日
- ㉗ (五月十日献立覚) (江戸)
- ㉘ 御こん立(覚) (江戸)
- ㉙ (御夕・昼後・御夜食御献立覚) (江戸)
- ㉚ (献立覚) (江戸)
- ㉛ (献立覚) (江戸)
- ㉜ (献立・掛物覚) (江戸)
- ㉝ (献立覚) (江戸)
- ㉞ (献立覚) (江戸)
- ㉟ (献立・家蔵之品一覽之記) (江戸)
- ㊱ (座敷飾り書上) (江戸)
- ㊲ 覚(御太覆仕立直し錢ニ付) (江戸)亥一〇月二三日
安馬屋 武兵衛↓御目付様御役所 河本吉郎様
※文書一点が貼り付けられている。
- ㊳ (献立覚) (江戸)

※掛紙あり。

番号表題

年月日

作成者(差出→宛所)

形態・数量

- ①⑧ (三月六日前津山澄別荘江罷越節之献立書上) (江戸)
- ①⑧ (献立書上) (江戸)七月一七日
- ①⑧ 献立 (江戸)四月六日
- ①⑧ 御発駕御見立(御献立) (江戸)
- ※「御客様方」として「七郎左衛門様・吉十郎様・武三郎様・鈴山様・戸三郎様・お益様・御前・妙壽院様」が記載されている。
- ①⑨ 於富様御婚礼ニ付御献立 (明治一五年～同一六年)
- ※於富様は十四代・十七代徳川慶勝の八女富姫のこと。毛利元昭と結婚した。
- ①⑨ □月十三日御上通り斗り御九人前(御献立案) (江戸)明治
- ①⑨ (御花島御別荘御床飾・御献立) 文政一三年庚寅四月四日 松尾宗五
- ※「御花島」は近衛家の別邸。
- ①⑨ (御献立書上) (江戸)三月一七日
- ①⑨ (御献立書上) (江戸)
- ※「御隠居様」という記載がある。前欠カ。
- ①⑨ (御献立書上) (江戸)明治
- ※前後欠カ。
- ①⑨ 御夜食御膳 (江戸)明治
- ※前後欠カ。
- ①⑨ 御祝御膳御献立(御表・御奥とも御十五人前) (江戸)明治
- ①⑨ 御献立御八人前内一人町医 (江戸)
- ①⑨ 正月十二日朝五ツ時過(御献立) (江戸)
- ※後欠。
- ①⑨ (献立覚) (江戸)明治
- ※断簡。
- ①⑨ (献立覚) (江戸)明治)九月一日
- ※断簡。

①97 (献立覚) (江戸～明治)

※断簡。

①98 (献立覚) (江戸～明治)

※断簡。

①99 (献立覚) (江戸～明治)

※断簡。

②00 (献立覚) (江戸～明治)

※断簡。

②01 御献立(御上三人前様) (江戸～明治)

※断簡。

異千五百七二 [献立飾物記録 一二] (江戸～明治)

[徳川]

*表紙が剥離しているため取扱注意。

① (子六月朔日山吹儀兵衛別荘座敷懸物・献立其外書上) (江戸)

② (七月廿五日遠山彦左衛門邸表居間飾・茶席懸物・献立其外書上) (江戸)

※渡辺半蔵・志水小八郎・生駒因幡・高橋順吉・大道寺孫蔵・田宮半兵衛などの名前が記載される。

③ (寅四月十八日半太夫別荘座敷床懸物・献立書上) (江戸)

※「半蔵ニも相見候」と記載あり。

④ (献立覚) (江戸)五月一日

⑤ (茶器・献立書上) (江戸)

⑥ (茶席道具覚) (江戸)

⑦ (茶席道具覚) (江戸)

※「上」「下」の記載あり。

⑧ (二月四日一之宮神主へ立寄飾付・献立書上) (江戸)

⑨ (床飾付案) (江戸)

⑩ (茶席飾物・献立書上) (江戸)九月三日

⑪ (宝暦七年正月十五日御鷹之鶴之御料理被下置候御献立書上)

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ⑫ (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ⑬ (茶席飾物・献立書上) (江戸)三月朔日
- ⑭ (座席飾物・献立書上) (江戸)正月七日
- ⑮ 竹姫君様松平大隅守江御入奥之節御座敷傍并御七献之御祝儀之次第(写) (享保一四年二月二日)
- ※竹姫は清閑寺配定の女で徳川綱吉・吉宗の養女、松平大隅守は島津継豊。
- ⑯ 覚(献立書上) (江戸)
- ⑰ 寛延元年十二月六日市谷御屋形御座之間御囲御開御道具附
- ※端裏に「寛延元年臘月六日 市買」と記載されている。
- ⑱ (茶席飾物・献立書上) (江戸)三月一〇日
- ⑲ 九月廿八日江戸堺町光世庵茶席道具・献立書上 (江戸)
- ⑳ (茶席道具・献立書上) (江戸)七日
- ㉑ (献立覚) (江戸)
- ㉒ 廿三日 献立 (江戸)
- ※後欠。
- ㉓ 道具絵灸附(茶道具・献立書上) (江戸)二月一〇日
- ㉔ (献立書上) (江戸)一〇月二八日 山澄↓
- ㉕ (献立書上) (江戸)
- ㉖ (献立覚) (江戸)
- ㉗ 覚(献立書上) (江戸)
- ㉘ 覚(献立書上) (江戸)
- ㉙ (床飾覚) (江戸)
- ㉚ (茶席飾物・道具覚) (江戸)
- ㉛ (茶席飾物・献立・道具覚) (江戸)
- ㉜ (茶席飾物・献立・道具書上) (江戸)
- ㉝ (茶席飾物・道具覚) (江戸)

34 (道具個数書上) (江戸)

※形態は横。下ヶ札あり。剝離が多いため取扱注意。

35 十月廿五日麴町成瀬亭数奇屋四疊半大目 (江戸)

36 (茶席飾物・道具寛) (江戸)

37 (茶席飾物・道具寛) (江戸)

38 (茶席飾物・道具・献立書上) (江戸)

39 正月廿日竹腰亭(飾物・献立書上) (江戸)

40 (茶席飾物其外書上) (江戸)

41 (茶席飾物・献立其外書上) (江戸)

42 (茶席飾物・道具寛) (江戸)

43 御献立(案) (江戸)

44 御献立(案) (江戸)

45 (献立寛) (江戸)

46 (献立寛) (江戸)

47 三方熨斗(茶席飾物・献立書上) (江戸)二月一五日

48 正月十三日於看松軒御数奇屋御茶被下(御飾物・御道具書上) (江戸)

49 (茶席飾物・献立書上) (江戸)

50 (茶席飾物・献立書上) (江戸)二月一日

51 (茶席飾物・献立書上) (江戸)四月二日

52 御道具附(茶席飾物其外書上) (江戸)

53 天保十五年二月廿八日当日御礼濟前大納言様御拝領之鶴御披キ有之夫より隼人正・太八郎御庭拝見被仰付因幡守・河内守も願ニ依而一同拝見被仰付候(御床筋・御献立書上) (江戸)

※「前大納言様」は十代当主徳川斉朝(当時隠居)のこと。

54 (茶席飾物・献立書上) (江戸)九月二三日

55 (茶席道具寛) (江戸)

56 (茶席飾物・献立書上) (江戸)五月一七日

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ⑤7 (茶席飾物・道具書上) (江戸)
- ⑤8 (茶席飾物書上) (江戸)
- ⑤9 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 菊月(九月)二四日
- ⑥0 (十一月九日城州江罷越候節道具附) (江戸)
- ※城州は竹腰山城守のこと。
- ⑥1 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 皐月(五月)二三日
- ※「雲州侯不味(松平治郷)好薬器」と記載があることから、年代は文化三年(一八〇六)以降か。
- ⑥2 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 二月二五日
- ⑥3 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 初冬(一〇月)未一日
- ⑥4 (献立覚) (江戸)
- ※状が貼り付けられている。
- ⑥5 寛延三年十月九日市谷於御数奇屋御道具附・宝暦四甲戌年十一月九日宰相様両少将様江御茶被進候御道具附 (江戸)
- ※「宰相様」は宗睦(八代徳川宗勝の嫡子)、「両少将様」は勝長(同六男)・勝當(同七男)のこと。
- ⑥6 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 一〇月二〇日
- ⑥7 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 二月一九日
- ⑥8 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 一〇月五日
- ⑥9 (茶席飾物・献立書上案) (江戸) 二月一八日 政秀寺
- ※裏書きあり。政秀寺は現在名古屋市中区にある織田信長が平手政秀の菩提を弔うために建立した寺。
- ⑦0 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 二月二三日
- ⑦1 (茶席飾物・献立書上) (江戸) 七月九日
- ⑦2 (茶席飾物書上) (江戸)
- ⑦3 (茶席飾物書上) (江戸)
- ⑦4 (茶席飾物覚) (江戸) 九月一九日
- ⑦5 (茶席飾物覚) (江戸)
- ⑦6 (茶席飾物・道具覚) (江戸)

- 77 (茶席飾物書上) (江戸)
- 78 (茶席飾物書上) (江戸)二月朔日
- 79 (茶席飾物書上) (江戸)
- 80 道具附(茶席飾物書上) (江戸)
- 81 (茶席ニ付炭櫃吟味其外覚) (江戸)
- 82 (四月廿五日別荘茶会ニ付飾物・献立書上) (江戸)
- 83 (茶席飾物・献立書上) (江戸)未三月二日
- 84 (茶席飾物・献立書上) (江戸)二月一日
- 85 (茶席飾物・献立書上) (江戸)九月二六日
- 86 (茶席飾物・献立書上) (江戸)正月一八日
- 87 (茶席飾物・献立書上) (江戸)一〇月四日
- 88 (茶席道具書上) (江戸)
- 89 (茶席飾物・献立書上) (江戸)巳正月二二日
- 90 (四月朔日渡辺別荘飾物・献立書上) (江戸)
- 91 (五月四日渡邊半蔵新坐敷初而罷越(飾物・献立書上) (江戸)
- 92 (亥二月廿八日半太夫方初雛之節飾物・献立書上) (江戸)
- 93 (献立書上) (江戸)巳正月二八日 千村
- 94 (茶席飾物・献立書上) (江戸)一〇月一五日
- ※客に津田縫殿頭・小笠原三九郎・荒川主馬・生駒主計などの名前が記載されている。
- 95 (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- 96 (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- 97 (茶席飾物・菓子書上) (江戸)
- 98 (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ※別の文書(飾物・献立覚)が貼り付けられている。
- 99 (茶席飾物・献立書上) (江戸)

※「六月十五日千村平右衛門未八ッ時過帰ル也」と記載されている。

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ⑩〇 (茶席道具書上) (江戸)
- ⑩① (茶席飾物・献立書上) (江戸)二月一八日 政秀寺
- ⑩② (茶席飾物・献立書上) (江戸)閏三月二一日
- ⑩③ (茶席飾物・献立書上) (江戸)四月五日
- ⑩④ (茶席飾物・献立書上) (江戸)四月朔日
- ⑩⑤ (茶席飾物・献立書上) (江戸)巳朱明(四月)五日 渡邊
- ⑩⑥ (献立書上) (江戸)五月
- ⑩⑦ (茶席飾物・献立書上) (江戸)九月二日
- ⑩⑧ (茶席飾物・献立書上) (江戸)七月九日
- ⑩⑨ (茶席飾物・献立書上) (江戸)四月一〇日
- ⑩⑩ (子十月十三日半蔵江罷越候節道具・献立其外書上) (江戸)
- ⑩⑪ (茶席飾物・献立書上) (江戸)十一月一九日
- ⑩⑫ (茶席飾物書上) (江戸)
- ⑩⑬ (午三月八日志水菅次郎家督後初而招請ニ付茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ⑩⑭ (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ⑩⑮ (茶席飾物・献立書上) (江戸)卯正月四日
- ⑩⑯ (茶席飾物・献立書上) (江戸)辰一〇月
- ⑩⑰ 九月十八日晚大雄院様御遠忌済祝ニ付茶席飾物・献立書上) (江戸)

※「大雄院様」は石河家初代光忠のこと。奥に「客表者別家・末家尽く相招、奥ハ縁付之向計り、他家之分ハ統近く候共不相招候」と記載あり。

⑩⑱ (茶席飾物・献立書上) (江戸)正月二日

⑩⑲ (茶席飾物書上) (江戸)

⑩⑳ (午十二月廿二日市谷御館御道具附(茶席道具書上) (江戸)

⑩㉑ 三月廿一日高木主水正殿亭(茶席飾物・会席書上) (江戸)

⑩㉒ (茶席飾物書上) (江戸)

⑩㉓ (戌三月廿九日別荘茶席飾物・献立書上) (江戸)

- ⑫④ (公儀江嫡子届相済候祝ニ付招請茶会飾物・献立書上) (江戸)七月二日
- ⑫⑤ (茶席道具・献立書上) (江戸)一〇月一八日
- ⑫⑥ (竹腰城州相見候節茶席飾物・献立書上) (江戸)臘月(二月)二六日
- ⑫⑦ (茶席飾物・献立書上) (江戸)亥七月二五日
- ⑫⑧ (九月六日志水小八郎家督後振舞江府餞別ニ付茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ⑫⑨ 御献立 宝曆八寅年一〇月二五日
- ⑬⑩ (茶席飾物・献立書上) (江戸)丑一〇月 小笠原即全亭
- ⑬⑪ (茶席飾物・献立書上) (江戸)臘月朔(二月一日)
- ⑬⑫ (御書院・御堂腰掛・御数寄屋其外飾物・御献立書上) (江戸)
- ⑬⑬ (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ⑬⑭ (茶席飾物・献立書上) (江戸)亥五月二日
- ⑬⑮ (茶席飾物・献立書上) (江戸)神無月一九日
- ⑬⑯ (小書院・小座敷飾物・道具書上) (江戸)
- ※前欠カ。
- ⑬⑰ (床飾り・茶道具書上) (江戸)
- ※後欠カ。
- ⑬⑱ (椀具・小皿道具覚) (江戸)
- ⑬⑲ (献立覚) (江戸)
- ⑬⑳ (茶席道具書上) (江戸)
- ⑬㉑ (茶席飾物覚) (江戸)
- ⑬㉒ (御床御掛物飾道具書上) (江戸)二月一九日
- ※折り込んで綴り込まれている。
- ⑬㉓ 御服紗御膳(案) (江戸)
- ⑬㉔ (献立覚) (江戸)
- ⑬㉕ (献立覚) (江戸)

※書状下書の紙背。

番号表題

年月日

作成者(差出↓宛所)

形態・数量

- ⑭ (連歌覚) (江戸)
- ※別の文書(献立覚)が貼り付けられている。
- ⑮ (茶席道具覚) (江戸)
- ⑯ (献立書上) (江戸)
- ⑰ 御引盃(御献立案) (江戸)
- ⑱ 古田問兵衛宅茶席飾物・道具書上 (江戸)八月朔日
※掛物は瑞龍院様(二代徳川光友)御筆の「梅鶯」「布袋」「竹雀」と記載されている。
- ⑲ (茶席飾物書上) (江戸)
- ⑳ (御驛旅御無恙御着座御安泰ニ付書状) (江戸)四月八日
※裏に床飾・献立などが記載されている。
- ㉑ (茶席飾物・献立書上) (江戸)一〇月一九日
- ㉒ (茶席飾物・献立書上) (江戸)
- ㉓ (献立覚) (江戸)
- ※掛紙複数あり。
- ㉔ (献立覚) (江戸)
- ※裏に別の文書(献立覚)が貼り付けられている。
- ㉕ (看松軒茶席飾・献立書上) (江戸)正月一三日
- ㉖ (正月三が日御献立書上) (江戸)